

2022年度正規履修 ソフトウェア一覧（予定）

コード	科目名	講師	ソフトウェア・環境
共通	-	-	Office（Excel、Word、PowerPointの編集が可能なこと） Zoom（アプリ版の使用を推奨） GoogleChrome（ブラウザはIEではなくChromeを推奨） Googleスプレッドシート・スライド（グループワークで使用）
K04	スマートIoTシステム・ ビジネス入門	増倉	TensorFlow、Keras、Anaconda（Python）
K05	IoT版ビジネスモデル 仮説検証プログラム	-	なし
K06	IoTイノベーション	-	なし
K07	アーキテクチャ	久保秋	BridgePoint
K08	セキュリティ・プライバシー・法令	竹之内	Postgresql、ARX
K09	組込み・リアルタイムシステム	荒木	Renesas統合開発環境 CS+ ※Windowsのみ（Mac版リリースなし）
K10	クラウドサービス・分散システム	-	前半：なし、後半：K14の項を参照
K11	ビッグデータマネジメント・ アナリティクス	石井	R
		鷺崎 岡崎	Ubuntu on Windows、Java8、 CCM（Cassandra Cluster Manager）、YCSB ※LinuxやMacOSXの環境でも実施可能だが、 事務局から案内できるインストール方法はWindowsのみ
K12	推論・知識処理・自然言語処理	上田	SWI-Prolog
K13	機械学習	-	Google Colaboratory（Python）
K14	クラウド基盤構築演習	中島 佐々木	OpenStack TeraTerm
		新井	Node-RED ※第5-6回演習はWindowsのみ（通信環境設定の都合）
K15	無線通信・IoT通信・ センサネットワーク	竹岡	TeraTerm
K16	センサ	-	なし
K17	IoTとシステムズアプローチ	全員	Slack（講師への質問やグループワークで使用） astah*（開講後ライセンス配布）
K18	深層学習	-	Google Colaboratory（Python） Anaconda、Pytorch
K19	品質エンジニアリング	早水	NuSMV
		本田	R

ソフトウェアのインストール方法

詳細は、履修登録後に参加できるLMSのコース（科目ごとのページ）に掲載します。

Macの利用について

講義で使用するソフトウェアが対応していない場合があります（代表例：K09）。

また、事務局からご案内するインストール方法も基本的にWindows10向けのみとなります。

なお、特別なソフトや環境が必要でない科目への参加はMacでも問題ありません。

会社で受講する場合の注意点

社内パソコンを利用したり、社内ネットワーク下での受講を検討中の方は、

各ソフトウェアインストールやアクセス等に問題がないか、必ず事前に社内のセキュリティ担当者へご相談ください。

参考として、過去の受講生から問い合わせがあった例は以下となります。

- ・Zoom ・Slack（K17） ・クラウドへの接続（K10、K14：AWSを使用予定）
- ・Googleアカウント（K07他：Googleスプレッドシート・スライド、K20：Google Colaboratory）